



大会宣言



活動発表「田子英司さん」

## 【田植え】

平成 30 年 5 月 19 日（土）中好間で 8 年目を迎えた冬・水・田んぼでの田植えは、毎年必ず参加していた榎田さんがいないのが残念です。

今年、初めて水生昆虫の王様「タガメ」がいました。今後はヘイケボタルの舞う姿を見たいものです。秋に収穫したコメは粕で保存し毎月開催のろうきん森の学校で食べることができます。 木田 記



タガメ



編集後記 『兎も片耳垂る大暑かな』 我が家の犬も一日中だら～っとしています。熱中症の注意喚起が頻繁にあります、最近では犬も熱中症で病院へ運ばれることもあるようです。自分は大丈夫と思わず、暑い日は家の中でのんびりしたり、涼しいショッピングモールでお買い物したりして、身体に優しい生活をしましょう！

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会  
 (発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合  
 (事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2 湯ノ岳山荘内  
 TEL/FAX 0246-44-3273  
 E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp  
 HP : <http://iwaki-mori.jimdo.com/>  
 Facebook : <https://www.facebook.com/iwakinomori>



## 第 14 回通常総会開催

第 14 回通常総会は平成 30 年 6 月 17 日（日）午後 2 時から「湯の岳山荘」で開催され、原案どおり承認されましたので以下報告します。

### 【理事長挨拶要旨】

先月 6 月 10 日、第 69 回全国植樹祭が南相馬市で開催され、理事長が出席し、本会が、福島県の「森林とふれあう部門」で優れた功績のあった団体に選ばれました。当会からも多くの会員がボランティアに協力してくれ、この場を借りましてお礼申し上げます。

当会が発足して 17 年、NPO を取得して 14 年になり、会員の年齢も年々高くなりまして、健康上の理由でこれなくなった方もいますので、皆さんも健康には十分気をつけてください。

活動の中心である「ろうきん森の学校」も市民に定着してきましたが、今年 4 月に、ろうきん森の学校の PR チラシを作成しました。

また、ろうきん森の学校の昼食の準備が大変ということで、今年度から農業班、木工班、プログラム班に年 2 回の協力を得て準備してもらうことにしました。

今年度末で、湯ノ岳山荘の指定管理者の期限が切れ新たに公募となります。当会において、活動の拠点である当施設の管理は是非継続しなければなりませんので、今後も会員の皆様のご協力をお願いします。

本日の総会は、平成 29 年度の事業報告、会計報告、平成 30 度の事業計画、予算について慎重に審議をすすめました。

今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動してください。



〇司会より本日の総会出席者について、正会員 20 名、委任状 61 名、計 81 名となり会員の過半数に達しており、総会成立の報告がありました。



○議長に武田征也さん、議長より議事録署名人に深瀬元靖さん・緑川二千男さんが任命されました。  
 ○議事に入り松崎副理事長より平成 29 年度事業報告、平成 29 年度会計報告がありました。引き続き猪村監事より監査報告があり慎重審議の結果、平成 29 年度事業は原案通り承認されました。



議長 武田さん



猪村監事

【平成 29 年度各種事業報告】(主な事項について)

### 1.市民の森づくり事業活動

- (1)活動人員 昨年比 19%増。苗畑関係、国際ワークキャンプ受け入れ増によるもの。
- (2)安全対策 「安全第一に楽しく」をモットーに無事故で過ごすことができた。
- (3)湯ノ岳 全体で 18%増。(苗畑関係 35%増、国際ワークキャンプ 45%増)
- (4)岩出・好間 岩出地区のカタクリ自生地のササ刈りを実施した。
- (5)新舞子海岸林 磐城森林管理署といわき青年林業会議所の協力を得て海岸林再生のための「苗木 for いわき」プロジェクトに対して、昨年比 32%増と多くのボランティアの参加があった。
- (6)21 世紀の森・戸渡里山 21 世紀の森は、枯松の除伐を中心に実施。戸渡地区は畑作業から撤退するための整備を実施。

### 2.森とのつき合い方の勉強、プログラム開発に係る事業活動

- (1)参加者数 昨年比 15%減。これは、いわき明星大学自然体験プログラム研修会の終了したことによる。
- (2)調査活動は、今年度より湯ノ岳フィールドの植生調査に着手した。

### 3.自然案内人の育成並びにインタープリテーション事業活動

- (1)自然案内人養成例年行っている時田先生(自然保護協会)によるもののほか、本会スタッフによる自然案内人養成基礎講座を実施した。
- (2)自然観察会・自然体験活動 昨年比 4%減。これは湯ノ岳山荘の参加者は昨年並みだったが、その他のところが 9%減による。

### 4.森林や林業に関する啓発事業活動

- (1)うつくしま 21 森林づくりネットワーク地方推進組織としての活動 4/21 総会(大玉村)・7/14 森づくり検討会(大玉村)・9/30~10/1 森づくり活動交流発表会(会津若松市)・3/19 森づくり検討会(大玉村)に参加しました。



参列者のようす



植樹



天王・皇后陛下御到着



表彰状



### 林業後継者大会

第 69 回全国植樹祭の関連行事である「第 47 回林業後継者大会」が 9 日、全国から約 460 名の参加のもと、いわき市アリオスで開かれ、当会からも 7 名が参加しました。活動発表では、いわき市からいわき市森林組合長の田子英司さん、田人林業研究会の緑川平隆さんが発表し、大会宣言では、豊田林業の豊田和弘さんと平子商店の平子睦美さんが「林業を通して東日本大震災からの復興創生と地域の発展に貢献し『未来へつなげる森林づくり』にプライドを持って取り組む」とする大会宣言を読み上げました。

木田 記





花炭の材料をブリキ缶へ・・・



できた花炭



弓矢であそぶ

## 全国植樹祭

第 69 回全国植樹祭が 10 日、天皇、皇后両陛下を迎えて南相馬市原町区栗の海岸防災林整備地で開催されました。県内外から集まった約 8 千人の参加者は大会テーマの「育てよう 希望の森を いのちの森を」を胸に、緑豊かな県土の再生を誓いました。福島県での開催は、昭和 45 年猪苗代での開催依頼 48 年ぶりで、今の天皇、皇后両陛下の参加はこれが最後となります。

早朝、いわき明星大学の駐車場から大型バスに乗り、台風の影響の小雨模様のなか南相馬市の植樹会場に向かいました。会場の駐車場から式典会場までは約 1 km あり、会場へ行く途中でクロマツの植樹を行いました。式典会場入り口でセキュリティチェックを受けましたが、天皇、皇后両陛下が出席するこの行事の安全対策のすごさを実感しました。

当会からも多くが招待者や運営スタッフとして参加しました。あいにくの小雨模様でしたが、植樹祭は式典直前に雨が止み予定通り実施できました。

午後 2 時 20 分、白バイの先導の下、天皇、皇后両陛下が到着されました。

天皇陛下はクロマツ、ケヤキ、スダジイの 3 種類を、皇后陛下はアカマツ、ヤマザクラ、ヤブツバキの 3 種類の苗木を植樹され、引き続きのお手播きでは、天皇陛下が津島マツと飯豊スギの種を、皇后陛下がベニシダレとマルバシャリンバイの種をおまきになりました。

また、このたび本会が、福島県森林の功労者の森林とふれあう部門（緑化の推進や森林づくり意識の向上に顕著な功績のあった団体）に選ばれたことを報告いたします。 木田 記



セキュリティチェック



参列者のようす

(2)自然観察会・自然体験活動の中で森林環境税の解説や森林・林業の現状について説明に努力した。

また 2018 年開催の全国植樹祭の P R を行った。

### 5. 森に関する各種情報の受発信事業活動

- (1)会報「ヤマザクラ」を計画通り年 4 回発行した。
- (2)森に関する各種情報は毎月会員を中心に発信した。
- (3)ホームページ・Facebook で広く市民に発信した。
- (4)湯ノ岳山荘の掲示板に森に関する各種情報を掲示した。



### 6. その他本会の目的達成に必要な事業活動

指定管理者として「いわき市林業研修センター・森林休養施設湯ノ岳山荘」の管理運営を行った。

【平成 30 年度各種事業計画】（事業実施方針のみを記載）

#### <事業実施方針>

- 「安全第一に楽しく」をモットーに、会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与する」ために取り組んでいく。
- ろうきん森の学校事業の一層の充実強化を図る。
- 湯ノ岳フィールド内に子ども達の自然体験活動フィールド（遊び場）整備を行う。

## 【森林整備班】

### 1. 森林整備班の定例活動一覧表

今期の活動はプロが伐採した大径木の玉切り、枝払い等の処理作業と下刈り作業を行った他バンガロー西側の空き地への植樹作業を行いました。 (H30.4.1~6.30)

月/日	曜	天候	実施事項	参加者
4/4	水	晴	伐木処理作業	2
4/11	水	曇	伐木処理作業	4
4/12	木	晴	地拵え作業	3
4/14	土	曇	地拵え作業	4
4/15	日	曇	地拵え作業	2
4/20	金	晴	植樹（労金連合会新入社員）	5+34
5/2	水	曇	伐木処理作業	2
5/16	水	曇	伐木処理作業	4
5/23	水	曇	伐木処理作業	3
5/30	水	曇	下草刈り	3+1
6/2	土	晴	整備場所の事前調査（専門講師による指導の下）	3+1
6/6	水	曇	下草刈り	2
6/13	水	晴	下草刈り（栗園跡地）	5
6/27	水	曇	下草刈り及びキノコ畑整備	6
計			活動稼働延日数（14 日）	48+36 名



## 2. 定例整備以外の活動

- ・4月中旬～下旬 スギ苗の移植作業を12日間延べ24名で実施しました。
- ・地元労組若者による森の手入れ作業を5月1回、6月1回行いました。

## 3 海岸林整備活動

海岸林整備活動は次のとおりです。

月/日	整備内容	会員・未来基地	ボランティア	計
5/12	下刈り、植樹、周辺のゴミ拾い	6	67	73
20	下刈り、植樹	3	32	35
26	下刈り、植樹	3	19	22
6/2	下刈り、植樹	3	24	27
9	下刈り、植樹	3	38	41
19	下刈り、植樹	6	120	126
30	下刈り、植樹	4	32	36
計		28	332	360

### 【農業班】

#### 1. イノシシ避けフェンスの設置作業

昨年、畑の各所でイノシシの侵入があり作物に被害を受けたので、新たに1号畑にフェンス設置作業を行いました。

地主さんの許可を得て、4月28日に開始し5月14日に完了しました。



一方で、今年は今までのところ笠石地区にイノシシ侵入が見られません。

猟友会による捕獲が功を奏したと思われます。

#### 2. 苗の植付け、収穫などの作業

5月7日、28日、6月25日にさつま芋の苗

(自家製)を植え付けました。

その他、里芋(4/16)、カボチャ苗(4/30)、長ネギ苗

(5/21)などを植え付け。

野菜の収穫作業は春キャベツ(5/7)、ソラマメ(5/28、6/4)、タマネギ(6/4)、じゃが芋(6/18)などの収穫を行いました。これからの収穫は夏野菜やブルーベリーになります。



採った山菜を天ぷらに



天ぷらになった山菜

#### 2 平成30年5月20日(日)(天候・晴)

- (1) 実施内容 ①自然観察会 ②森林療法体験 ③木工教室(子供対象)
- (2) 参加者数 41名
- (3) 実施結果

自然観察会は子供中心に2班、大人中心に1班を編成し、新緑の森の散策を行いました。子ども中心の班ではちょうどウグイスカズラやモミジイチゴが食べごろを迎えていたので食べてみました。子どもたちの多くは初めての経験だったそうです。大人の班は小高い丘で横になり森林療法の体験をしました。昼食はタケノコご飯、ワラビのお浸し、タラノメの天ぷら等湯ノ岳で採取し

た

ものです。木工クラフトでは竹笛とブービー笛を作り、笛を鳴らして遊びました。



アカハライモリいるかな。



ウグイスカズラ



竹笛上手になるかな

#### 3 平成30年6月17日(日)(天候・晴)

- (1) 実施内容 ①自然観察会 ②花炭作り ③木工教室(子供対象)
- (2) 参加者数 41名
- (3) 実施結果

自然観察会は3班編成で行いました。今回は新緑の森を歩き虫や木の実を見つけました。戻ってから採取した材料で花炭を作りました。昼食は、参加者にお好み焼きを作ってもらったほかキノコの炊き込みご飯とみそ汁でした。午後の木工クラフトでは竹とススキで小さな弓矢を制作的に当てて遊びました。

佐藤 烈記



ホタルの暮らしぶりや光を放つ仕組みなど クイズ混じりで解説していきました。

クイズには、子ども達が大きな声で「はい〜！」と手を上げるなど 蛍を良く理解出来た内容でした。

「蛍の話」が終わった後 車で「彩花園」に移動しました。

暗くなるのを待って 小川沿いに蛍を探しながら歩き出しました。

中々お目当ての蛍の光が見つからず不安でしたが、一番奥の小川に木々が覆い被さる暗闇に ふわりふわりと蛍が飛び交っていました。

その光を見つけると同時に「わ〜あ！」と言う歓声が上がりました。

小川に沿って右に左に数十匹の蛍が飛び交ってします。ゲンジボタルの強い光なので迫力満点！

何匹かの蛍を捕まえて 子ども達の手のひらに乗せて上げたりしました。

「可愛い」「熱くない」など 間近に見る蛍に感激していた様子でした。

蛍に見とれて 中々その場を動かない参加者を安全に彩花園まで案内して無事に修了することが出来ました。

天候にもめげず、津崎さんの楽しいお話と 沢山の蛍を見ることが出来、参加者の満足そうな笑顔が印象的でした。

ホタルが住める 自然豊かな環境の大切さを実感できたイベントだったと思います。

佐藤 幸二 記



## ろうきん森の学校

1 平成 30 年 4 月 15 日 (日) (天候・雨)

(1) 実施内容 ①自然観察会 ②山菜料理体験

(2) 参加者数 31 名

(3) 実施結果

自然観察会は 2 班に分かれて、山菜探しを行いました。その結果 35 種類の食べられるものを見つけました。それを野外で天ぷらにして食べてみました。セイタカアワダチソウのおいしいことに皆驚いていました。

3. その他

1) 前回に続き、6月23日にビニールハウスのフィルム破れの補修を行いました。

2) 6月30日、ソラマメ約3kgを各地主さん宅へ届けました。

3) 4月23日、pmより山荘にて杉苗の植え替え作業をしました。

4) 農道、畑周辺の草刈り(5/14、6/1、6/16、6/23、7/2、7/5)。

5) 6月中旬からの日照りで水不足。7月2日に山荘より水を軽トラで運搬しました。

## 【木工班】

〔男子班〕 今回は自由物作りとしました。

1 傘立て 2 CDラック整理物等

3年前から考えて、なかなか完成しなかった傘立てが野木さんの協力  
でようやく玄関前に

お目見えしました。しかし、毎日30度を超す暑さで雨も降らず、  
待機中。 松本 記



〔女子班〕

孟宗竹(直径:約1.8cm、厚さ:約1.5cm)を材料として、緑川功さんの  
指導を受けながら輪切りの文房具入れ(高さ約1.5cm)を作りました。

はじめは不慣れなナタ、小刀類を使用して表皮を削って、竹特有の筋  
目をだし、内部は薄板で仕切った跡、透明ニスを塗って完成させました。

他に菜箸とバターナイフも作りました。 (佐藤行年・佐藤勝美記)



## 【プログラム班】

1 学校等の支援活動

今期は5月、6月に2校ずつ、合わせて4件の支援を行いました。

その一覧は、次のとおりです。

No.	月日	学校名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	5月11日(金)	錦東小	3	総合学習	23	7
2	5月17日(木)	平六小	3	総合学習	52	10
3	6月5日(火)	錦東小	3	総合学習	23	8
4	6月7日(木)	中央台北小	4	総合学習	53	12
計					151	37



以下に錦東小学校3年生の第2回の支援のようすと中央台北小4年生の第1回の支援のようすとを報告します。

錦東小学校3年生の第2回の支援は、ひと月前の第1回目の支援からひと月もたっていない6月5日に行われましたが、春から夏にかけての学校の校庭の植物や見つけれられる虫には大きな変化が見られました。葉はより緑が濃く、大きく繁り、黄色、赤紫、白などの花が咲き誇り、またグミは赤い実をつけ、銀杏は小指の頭ほどになりましたがまだ緑色です。しかしカラスノエンドウは小さな褐色のさやに熟した実をつけていました。虫も暖かさに誘われていろいろと這い出してきました。

前回班ごとに決めた定点観測の木の枝に児童がつけた名札を付け、木の変化に気づき、またその周囲を観察し、花びらを観察シートにこすりつけ色をつけ、そこに魔法の水をスプレーして色が変わったり、変わらなかったりすることに驚いていました。また体のものさしを覚え概算で木の高さや葉の大きさを測る方法を試していました。

中央台北小4年生の総合学習の支援は6月7日にスタートしました。1回目なのでまずは室内で紙芝居を見、ついで校庭に出て班の木を決め、子供たちで名前をつけました。選んだ木はサクラ、フジ、モモ、ザクロ、クワガタモチそれにケヤキです。遅い時期のスタートなのでだいぶ成長していましたが、自分たちで名付けた木をじっくり観察していました。木によってはもう実の形がはっきりしているものがありました。

4年生ともなると3年生よりは落ち着いてじっくり観察することまた丹念に虫を探したりすることが出来るようです。足元の小さな葉の裏側にクサギカメムシの卵とかえったばかりのカメムシを見つけた子どもがいました。



中央台北小 名札をつけている→  
←錦東小 活動の様子



錦東小 カラスノエンドウの実の中 中央台北小 クサギカメムシの卵とカエッタバカリノカメムシ

## 2 その他の支援活動

学校支援の他次の支援を行いました。

- 4月28日(土) クリナップ労組主催「春の自然体験」
- 5月21日(月) 平労働金庫主催「ろうきん友の会(春)」
- 6月30日(土) 常磐共同ガス主催「第158回がスワンふるさと教室」

佐藤 烈 記

## 【プログラム班】

「海辺の生きもの観察会」 ～ハマダンゴムシを探そう～

1. 実施日時：平成30年5月27日(日) 9時30分～11時30分
2. 実施場所：いわきサンマリーナ
3. 参加者：26名(大人13名・子ども13名)
4. スタッフ：5名
5. 内容：

海辺の生きもの観察は、午前中に最も潮の引く5月が最適です。当日は天気にも恵まれ、最高のコンディションの下での観察会となりました。

最初に身近な場所で見られるオカダンゴムシとワラジムシを手にとってもらいましたが、大人が首をかしげる中、子ども達は直ぐに違いに気がつきました。次に大きさや模様の異なるハマダンゴムシを紹介しましたが、初めて見るその姿にとっても驚いていました。

プログラムは、まず潮の引いた浜で砂団子を作るチゴガニやコメツキガニの巣穴を掘って採集し、カニの体を観察したり砂に潜る様子を実験したりしました。次に栈橋を散歩して海岸植物や磯の様子を見ながらサンマリーナ全体の環境を眺めました。その後、お目当てのハマダンゴムシ採集に挑戦しましたが、大人も子どもも皆夢中になり、中には10匹も見つけた参加者がいました。自分で生き物を採集すると、どのような場所でどんな活動をいするか、体験を通して知ることが出来ます。小さな生き物が自然に興味を持つきっかけになり、ひいては自然を大切に思う心が生まれればと思います。なお観察に当たっては、生き物を大切に扱うように指導しました。

津崎 順 記



## 「蛭の観察会」

1. 実施日時：平成30年6月16日(土) 18時00分～20時40分
2. 実施場所：湯ノ岳山荘・彩花園(渡辺町泉田)
3. 参加者：26名(大人13名・子供13名)
4. スタッフ：8名
5. 内容

当日は朝から雨で、雨が上がった午後でも気温が上がらず肌寒い天気でした。予想どおりキャンセルの電話が次々と入り5組20名が欠席となりました。それでも元気な参加者が26人も集まってくれてスタッフ一同ホッとしました。

木田会長の挨拶の後、「蛭の話」が津崎さんの巧みな話術で始まりました。